

永遠の風になれ (埼玉インターハイスローガン)より

★ 原点回帰

我が春日部高校陸上部は昨年大きな目的を遂げた。

過去には投擲、跳躍、混成で全国制覇を成し遂げた。

そしてついに「かけっこ」でも悲願の日本一を獲得した。

ではその先に目指すものは何か？

その答えは我々が思案するまでもなく、当の監督がはっきりと示唆していた。

以下、大塚監督の練習日誌ブログより(2007、2月)

「おごるなよ 円い月夜もただ一夜」

春高の冬季練習も残すところ3週間を切りました

選手達には目標を持って・・・と何度も言ってきましたが、

来シーズンの私の具体的な目標はいったいなんだろう？

とふと考えてしまいました。

2005シーズンの目標は東部地区総合優勝、IHで奥岡・後藤のダブル入賞、

4継・マイルのIH出場でした。

2006シーズンは後藤の3冠、4継のIH制覇、

県大会・関東大会で総合上位入賞を目標としました。

2007シーズンは？選手個々についての指導目標は立ててありますが

骨格となる大きな目標が具体化されていません。

ここ数日練習を見ていて一昨年・昨年と

良い結果を残しておごっているのは自分自身だとつくづく感じました。

満月は次の夜から徐々に欠けていくのを忘れていました。

「初心に戻って頑張るしかない」と気づきました。

昨日・今日と赴任した時の気持ちに戻ってライン引きから始めています。

選手任せでゆがんでいたラインを正しく引き直しました。

グラウンドも赴任当初よりはましですが相当痛んでいます。

これからは徐々に整備をしながら初心に戻って

次の満月に向かって努力していこうと決心しました。

できるだけ次の満月が早く訪れるように

具体的な目標を考えて選手と共に頑張っていきます。

